

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等	目標の内容・実績			
【法人名】 株式会社秩父開発機構	目標	秩父ミュージックパーク 利用者満足度85%以上の継続	埼玉県長瀬射撃場 銃と火薬類による事故発生件数ゼロ	全社的な当期純利益の確保
	各年度の実績	【令和5年度実績】 90.7%	【令和5年度実績】 事故発生件数0件	【令和5年度実績】 経常利益 ▲1,448千円 当期純利益 ▲2,703千円 繰越利益剰余金 6,825千円
【中期経営計画の期間】 令和5年度～令和9年度	法人による自己評価	前期5か年では、利用者満足度を80%以上としておりましたが、今期については85%以上に設定いたしました。 令和5年度においては、園地及び施設の維持管理を適切に行うと共に、利用者サービスの一環として、園内の案内板に、主な施設までの距離を表示するなどの見直しを進めてまいりました。 催し等においては、「ホタル観賞のタペ」などの15の自然体験イベントや、どなたでも楽しめる「音楽療法コンサート」などを行いました。 また、公園の賑わいに合せ、キッチンカーの出店機会を増やすほか、7月からは新たにキャンプ場の営業を開始しております。 誘致イベントについては、ジャズフェスティバルをはじめとする野外ステージでのコンサートなど、大規模イベントが実施されました。 このような事業展開の結果、利用者満足度においては 90.7%となり、目標を達成することができました。 今後は85%以上を目標としながらも、前期の数値を上回る努力をいたします。	銃所持者においては3年毎に銃所持許可証更新時に技能講習の受講が義務付けられています。長瀬射撃場では、埼玉県及び群馬県の公安委員会から技能講習の実施業務を受託しており、講座と実技からなるこの講習を通じて、改めて銃の安全操作の徹底と技能の向上を促しております。 また、場内に取扱注意事項を掲示するなど、職員及び利用者の安全意識の啓発を図ってまいりました。 結果、銃と火薬類による事故の発生はありませんでした。	秩父ミュージックパークにおいては、ナラ枯れ病対策や除雪作業などの経費が発生したものの、ほぼ計画通りの事業運営となりましたが、長瀬射撃場においては、これまで長瀬開催であった大学生の5大会が他会場へ移行したことや、大規模改修工事の3ヶ月間営業休止などもあり、利用料金収入は大幅に減少しております。 このような結果、社内全体としては、売上高合計2億7千893万4千円、営業損失267万2千円、経常損失144万8千円、当期損失270万3千円となり、利益剰余金は682万5千円となっております。